

わたしたちの町と成田空港 Vol.6

成田空港の更なる機能強化により、これまで以上に町と成田空港との関係が密接となることから、成田国際空港(株)から交付される「成田国際空港周辺対策交付金」がどのように使われているのかなどを、シリーズでお伝えします。 関企画空港課空港班 ☎84-1279

今回は、成田国際空港周辺対策交付金などを活用した小中学生向けの事業をお伝えします。

町内小学6年生が「周遊フライト」

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった「お仕事見学会」の代わりとして、また、町内小学校の多くの行事が中止や縮小となったことから学校行事の一つとして、新たに交付された成田国際空港周辺対策交付金(地域振興枠)を活用し、3月12日に町内全小学校6年生を対象に「周遊フライト」を実施しました。

多くの児童が初めて飛行機を体験することもあり、搭乗前は緊張した表情を浮かべていましたが、JAL社員の方々からオリジナルの横断幕で温かい見送りを受けたり、飛行中の機内では機内アナウンス体験やお仕事講座など普段は味わえない体験をし、着陸後は弾けるような笑顔で、友達との会話も弾み、充実した表情を浮かべていました。

当日の周遊フライトプログラム

- ①保安検査場体験
- ②搭乗ゲートや飛行中の機内でのアナウンス体験
- ③特製パスポートによる搭乗手続き体験
- ④飛行中の機内で整備士によるお仕事講座
- ⑤機内食体験
- ⑥航空機による特別飛行ルートでの周遊体験



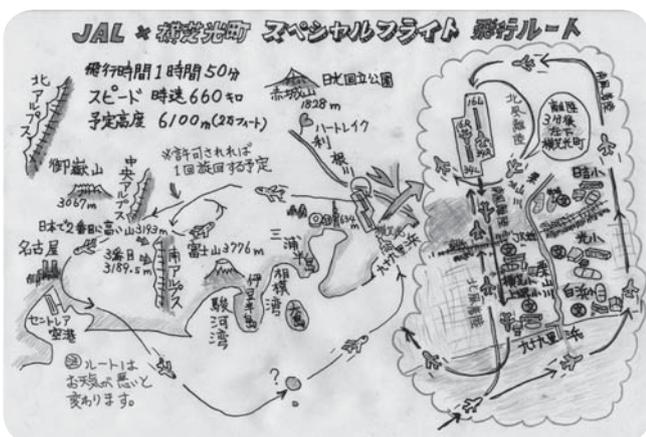
特製パスポートによる出入国の手続き体験



JAL社員による見送り



JAL作成の特製パスポートと搭乗券



JAL機長手作りの飛行地図



搭乗手続きを体験し、いよいよ機内へ